

アフリカに教えてもらったこと

グローバル化が極度に進展している今日。
今起きている事や過去の出来事からも、学び続けること。それが、危険に対する経験値が余りにも低い私たちが、今できることかもしれません.....。

豊かで平和な日本で、なぜ自分のことを不幸だと思う若者が多いのか？
その答えは、意外なことにアフリカが教えてくれました。
人生をアフリカにかけたジャーナリストと、アフリカと学生とともに歩み続けておられる大学教授の思い溢れる講座です。

12月8日(土)13:30-16:00

会場:コープこうべ健保会館

神戸市東灘区住吉東町4-6-5 JR住吉駅から南へ徒歩7分



長年にわたる紛争地域での取材を続け「どんなに慎重に行動していても、危険な目に遭うことはあります。最後は直感を信じて、できることは何でもやる。それが私の危機管理術」という大津さん。

大津司郎さん
ジャーナリスト。40年以上にわたる豊富な経験に焦点を当て、グローバルな視点で分析、レポートを行っている。

タイの研究を専門としながらも、「好きな国は多い方が人生は楽しい。自分以外の何者かのために力を使うことで、人ははじめて誇りを手にする」と甲斐先生。



甲斐信好さん
拓殖大学国際学部教授

「大津司郎鉛筆画展」を開催

アフリカ目撃—旅・冒険・紛争取材

12月5日～7日・コープこうべ生活文化センター1階

主催・申し込み・・・兵庫県ユニセフ協会 電話 078-435-1605